

下水道浸水被害軽減総合計画策定マニュアル(案) (1/2)

目次

- 第1章 総論
 - 1-1 マニュアル改訂の背景と改訂方針
 - 1-2 計画の目的及び基本的方向
 - 1-3 適用範囲
 - 1-4 用語の定義
 - 1-5 計画策定手法の考え方
 - 1-6 計画事項
 - 1-7 計画策定の流れ
- 第2章 基礎調査
 - 2-1 調査区域
 - 2-2 被害の特徴や原因の把握
 - 2-3 降雨の実態の把握
 - 2-4 地域特性の把握
 - 2-5 現地対策の把握
 - 2-6 課題の整理
- 第3章 計画目標
 - 3-1 対象降雨の設定
 - 3-2 対象とする外水位の設定
 - 3-3 重点対策地区の分類設定
 - 3-4 浸水被害軽減目標の設定
 - 3-5 計画期間の設定
- 第4章 重点対策地区の設定

赤字：追加
青字：増補

- 第5章 対策検討
 - 5-1 対策手法の概要
 - 5-2 対策手法選定の基本事項
 - 5-3 対策検討
- 第6章 最適案評価及び優先度評価
- 第7章 関連計画との調整・連携
 - 7-1 関連計画との調整・連携
 - 7-2 内水ハザードマップの作成及び公表
- 第8章 事業の実施及び評価
 - 8-1 事業効果の評価と見直し
 - 8-2 下水道管渠内水位等の観測と蓄積

<資料編>

1. 対策手法の事例
2. 下水道浸水被害軽減総合計画の策定例

(参考資料)

「都市における浸水対策の新たな展開」

「ストックを活用した都市浸水対策機能向上の
ための新たな基本的考え方」

「新たな雨水管理計画策定手法の論点集」

下水道浸水被害軽減総合計画策定マニュアル(案) (2/2)

第1章 総論

1-1 マニュアル改訂の背景と改訂方針

- **今回改訂の視点**を整理：「都市浸水対策の考え方の反映」「法改正や関連マニュアルとの整合」「現在の事業制度への対応」

1-5 計画策定手法の考え方

- **浸水シミュレーションにより、既存ストックの最大活用が可能**となること、その際にはシミュレーションの精度確保が必要であることを追記

1-6 計画事項

- **現事業制度の整理項目と整合**させるよう項目等を調整

1-7 計画策定及び見直しの流れ

- 計画策定の流れ（マニュアルの構成）に「関連計画との調整・連携」と「事業の実施及び評価」（水位観測計画、PDCA）を追記

第2章 基礎調査

- 効率的雨水管理総合計画の活用を図りつつ、より時間的・空間的に詳細な降雨データの収集・整理が必要なことを追記

第3章 計画目標

3-1 対象降雨の設定

- **照査降雨（レベル1' ,レベル2降雨）の位置づけ**と設定の考え方を追記

3-2 対象とする外水位の設定

- 照査降雨時における河川等の外水位設定の考え方を記述

3-4 浸水被害軽減目標の設定

- 機能保全水深のみでなく、**浸水開始時間（自助等に要する時間）の確保**も考慮することを追記

第4章 重点対策地区の設定

- 重点対策地区は「雨水管理総合計画」と調整を図りつつ、**浸水シミュレーションを踏まえて定める**ことを追記

第5章 対策検討

- 「**ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな基本的考え方**」で整理した「**ハード対策**」（既存施設の活用、他事業との連携）と「**ソフト対策**」（施設・観測情報の活用）の**体系**を反映

第7章 関連計画との調整・連携

7-1 関連計画との調整・連携

- **河川計画、都市計画、防災計画、多様な主体との連携**の必要性について、関連事業や関連マニュアルを参照するよう記述

7-2 内水ハザードマップの作成

- **内水HM作成の必要性、作成・活用方法等**について、内水浸水区域図作成マニュアル（案）等を参照するよう記述

第8章 事業の実施及び評価

- 事業効果の評価による**計画の見直し（PDCA）**とそれの基となる**水位観測計画**の内容について、下水道管渠等における水位等観測を促進するための手引（案）を参照するよう記述

今後の取組み方針

- 今後の「**下水道施設計画・設計指針と解説**」の**見直し**や関連手引き・マニュアル改訂における議論・内容をふまえて、適宜増補・改訂していく